

立正大学の同窓会

千葉県支部50周年記念 当山を会場に開催される

清澄



祖師堂でのお開帳後の記念撮影

平成24年7・8月
合併号

発行所
〒299-5505 千葉県鴨川市
清澄322-1

© 清澄寺
TEL 04 (7094) 0525 番
FAX 04 (7094) 0527 番
振替 00140-5-55501

印刷所
天津 (有) プラザー印刷
送料共1部100円

お知らせ

8 月

27日 19:00
信行会 (唱題行)

9 月

13日 14:00
虚空蔵菩薩大祭
19~25日
彼岸会

27日 19:00
信行会 (唱題行)

10 月

27日 14:00
お会式
27日 19:00
信行会 (唱題行)
28日
曉天法要

立正大学同窓会

千葉県支部 創立五十周年記念

当山二宮別當が、立正大
学同窓会・千葉県支部の支
部長をされている兼ね合い
で、六月十六日、十七日の
二日間にわたり総会が開催
されました。

今年には創立五十周年とい

うこともあり、例年よりも
準備万端に力を入れ、記念
大会として賑わいました。

初日は雨が降っておりま
したが、同窓生である渡邊
照敏日蓮宗宗務総長、塩崎
望巳総務局長、片桐有而鴨
川市長を始め、約八十名の
参加があり、午後二時の祖
師堂でのお開帳、宝物拝観
などの諸堂案内からはじま
りました。

その後、信育道場に移動
して総会が行われ、総会終
了後は一龍斎貞山さん、貞

鏡さんによる講談を鑑賞さ
れました。

懇親会は食堂を会場とし
て行なわれ、同窓生の皆さ
んは学生時代を懐かしく、
思い出話に盛り上がってお
りました。

翌日は雨も上がり、境内
散策をしながら旭が森への
旭日遙拝へと向かい朝勤に
参列。別當による法話、そ
して朝食後の解散となりま
した。

あいにく天候には恵まれ
ませんでしたが、事務局長
の川口さんを中心にスタッ
フの皆さんは、何ヶ月も前
から当山に何度も足を運
び、綿密に打ち合わせをさ
れ、今回の盛大な総会へと
つながりました。

妙見宮大祭

七月二十一日、二十二日

七月二十一日、二十二日の二日間、当山奥の院妙見宮において、妙見宮大祭が開催されました。

昨年は台風接近の影響で本堂にて出開帳形式で行われましたが、本年は前日までの大雨も朝には上がり、肌寒かったものの二年振りに妙見宮での開催となりました。

二宮別當導師のもと、法味言上により、お開帳され



次々登山される参拝者の方々



た清澄の妙見様は、右手に剣を持ち、左手に宝珠、金色で彩色された立像のものです。

一年振りに御尊顔を拝しましたそのお姿から放つ御威光に、改めて有難い思いでいっぱいでした。



各地より申し込みのあった祈願札

午前中には、地の元の各漁業関係者や一般のご信者の方々が、大勢お参りに来られ、宮崎執事長をはじめ、山務員、修法師、総出仕の下、読経、祈祷にも熱が入り、大祭中は清澄のお山に読経の声、木剣の妙音が響き渡り、活気のある妙見宮大祭となりました。

大施餓鬼会法要

八月一日、午前十一時から護山会会員各家、並びに護山顕彰物故者を回向する、大施餓鬼会法要が二宮別當を大導師に祖師堂において奉行されました。

この法要は、第七代別當塩田日照猊下の代に発願され、

要が行われました。

法要の中では堂内に散華が舞い、行堂、卒塔婆への灑水、読経と続き、今野宗郎護山会会長はじめ、参列者が焼香され、志す靈位に思いを馳せておりました。

法要終了後、別當より参列者に御礼の挨拶があり、施餓鬼法要の意義と大切さを話されておりました。

近年、護山会の活性化が停滞し懸念されておりますが、当山護持顕彰のために、ぜひとも御協力をお願い申し上げます。



寺子屋

(少年少女修養道場)

開催される

夏休みになると、全国各地で子供たちの修養道場が開催されます。ここ清澄寺でも、研修会館を会場とし、各管区の日蓮宗青年会が主催となり開催されました。

日頃体験することのない『お寺での生活』にはじまり、当初の不安そうな子供たちの顔も、各日青会の思考を凝らしたカリキュラムを過ぎていくうちに笑顔へと変わり、いきいきとした元気な声が、静寂な清澄山に響きわたりました。

《御利用されました各団体は：》

- 七月二十四～二十五日 栃木日青会 三十四名参加
- 七月二十五～二十七日 千葉南部日青会 百十名参加
- 七月二十八～二十九日 千葉西部日青会 六十三名参加
- 七月三十～三十一日 埼玉日青会 六十四名参加
- 八月六～七日 東京西部日青会 六十名参加

各団体の中から地元、千葉県南部日青会『第二十一回 寺子屋』を紹介させて頂きます。

インドのストーリーテラドレンの一日を視聴し、子供たちだけで意見・感想を話し合う『子供会議室』を開設し、班ごとに意見をまとめ発表してもらいました。

発表内容は「自分は恵まれている」「両親が仕事をし、養ってくれるからこうして生きられる。両親に感謝」「物を大切に使う」「貧しいけれどもインドの子供達は笑っていた。近くに両親や友達がいるからだ。誰かが近くにいるということ。誰か素晴らしいこと」「生きている、それだけでスゴイ

謝」「物を大切に使う」「貧しいけれどもインドの子供達は笑っていた。近くに両親や友達がいるからだ。誰かが近くにいるということ。誰か素晴らしいこと」「生きている、それだけでスゴイ



千葉西部日青会修養道場



埼玉県日青会修養道場

こと・楽しいこと」等。

時には大人顔負けの意見もあり、恵まれた環境で生活している自分と、貧しい中でも笑顔でいるインドの子供たちを照らし合わせ、「命の尊さ」「あたりまえはあたりまえではない」「感謝」「自分の使命」等たくさん



千葉南部日青会寺子屋

ことに気づき、学びました。その後、団扇太鼓をたたきながらの唱題修行、坐禅修行の『仏事体験』、恒例の『肝試し』『流しそうめん』と学びあり、笑顔ありの寺子屋でした。

「お寺離れ」がさげばれている昨今、心が発達する幼少期だからこそ「お寺」をより身近な場所・空間に感じて欲しい、また、お寺での貴重な体験を今後の生活に役立てて欲しいと願うところです。

コスモス 幼稚園の 林間学校 今年も 開催される



「今日からよろしくお願いします」と子どもたちの挨拶

今年も七月十八〜二十日の二泊三日でコスモス幼稚園の皆さんが林間学校として清澄寺を会場に開催されました。

園児百三十二名、職員十三名総勢百六十五名にも及ぶお泊まり保育です。

仏事体験や麻綿原高原への遠足、キャンプファイヤーなど、日頃体験しないこと



バイバイ!と手を振って下山

ばかりで、またお父さんお母さん達と離れてお泊まりするわけだから、園児にとつては大冒険です。
三日間晴天にも恵まれ、皆仲良く過ごし虚空蔵菩薩様に智慧をいただいで元気に地元へ帰られました。



眠い目をこすりながら朝勤参拝

度牒団参 (七月二十七〜二十八日)

愛知県岡崎市
善立寺小幡潮頭師徒弟
度牒生

小幡隆志さん

今回の度牒団参は、愛知県岡崎市の善立寺様でした。

度牒を受けられたのはお孫さんの小幡隆志さん十一才で、檀信徒の皆様に見送られながら法式所作の指導を受ける為、祖師堂へ出発しました。

日程は通常の度牒と同じ日程で進みましたが、度牒生一人という事もあり、緊張感漂う中、法式所作指導・



二宮別當との記念撮影

読経試験が行われました。

読経試験官の宮崎執事長は「合格、これからは自信を持って今後の仏道修行に精進して下さい」とのお言葉をかけておられました。

その間、檀信徒の方々は、お題目写経を行い諸堂を見学され、魔尼殿にて御開帳を受けられました。

談話室

年々暑さが増してくるよう感じる夏ですが、皆さんは如何でしょうか。

良く酷暑とか、猛暑とかを使われますが、もっと暑いような表現が欲しくなる近年です。

でも、それでは益々暑く感じてしまいますので、思い切って逆の言葉を使ってみたらどうでしょうか、たとえば冷夏とか、涼風の今日この頃とか…。

ところで夏と言うと第一に何を思い浮かべますか? 私達は職業柄、お盆という言葉が浮かびます。お盆と言えば「供養」で

夕食後は二十七日という事もあり信行会の皆様と一緒に研修会館にて唱題行を体験されました。

翌朝の天候は曇りで、残念ながら御来光は拝めませんでした。五時三十分より二宮別當導師のもと、度牒交付式が厳粛な空気の中、厳修されました。

でしょうか、供養というと本年新盆になられた霊位に対する想いを一番に考えてあげたいところですが、昨年の三月十一日東日本大震災の物故者に関しては、一年以上経ってもまだ癒えない気持ちでいっぱいではないかと思えます。

先日の九州地方も、大震災の津波のように大川が氾濫しておりましたが、いつになってもせつないニュースばかりに驚かされます。清澄寺では被災地の早期復興と物故者の御供養を連日させて頂いております。ご登山なされました折、皆様と共にご回向を捧げましょう。